

豊かな心とおだやかな世界

一宮市立中島小学校 六年 水野陽遥

平和とは。改めて辞書を広げてみた。

①戦争がなく、世の中がおだやかなこと。②

もめごと、心配ごとがなく、おだやかなこと。

と書かれていた。今、日本は平和だと私は感じ

じる。その様に感じた一番の理由は、医療が

すぐに受けられる環境があるからだと思う。

私は、昨年末に、はヤリの病を患った。す

ぐに決められた検査を行い、速やかに薬局で

最適なお薬をもらい、最適な温度の部屋で7

カフカの布団で眠ってすぐに治った。

その時は、高熱でとても辛いと思っただが、今

平和を考えた時、この環境はとても恵まれて

いる事に気づいた。

世界に目を向けてみると、今も戦争が起こ

っている。とてもおだやかな状況が何年

も続いていく。情報を少ししか知ることがで

きないが、今の日本の様な医療は戦地ではで

きていないと予想できる。私の心はおだやかな

ではなくなつた。

八月六日は日本人にとつてとても大事な日だ。この先もずと続く。今年も終戦から七十八年。もう戦争を知っている人は私の周りにはいない。幼い頃にひいおばあちゃんに聞いた話も残念だが覚えていないし、あまり聞けずに七くなつてしまつた。祖父母も父母も平和に慣れてしまつていゝる。しかし戦争があつた事実はずが変わらない。道も建物も面影もないが、過去に日本は戦地であつた。私はこの時

代の話が正直苦手だ。暗い、恐い、幸せではないからだ。しかし、今の日本の平和はこの戦争の反省があり、当たり前ではないと考える直す機会になつた。

私自身の毎日は平和そのものだ。温かい食事があり、行きたいところへ行け、勉強も何不自由なくできている。時には何も変わらない毎日がつまらないと感じる時もある。しかし、平和を考えた時、こんな当たり前の毎日に感謝しなければいけないと思つた。私は将

来日本がどれだけ素晴らしいか伝える仕事を
したいと考えている。その為にも、今の日本
の平和な環境に感謝し、継続させ、更により
よい国をつくるにはどうしたら良いか考えた。
その為には、自分の心が豊かになれば世界も
変わると信じること。ささいな事で争いあう
貧しい心を豊かな心になれば、も、とも、と
平和でおだやかな世の中になると信じている。